

脱退

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

英治

B 助

シーラ

ライブハウス控え室。  
男二人女一人が待機している。

B 助 いやあ、ドラム、スティック飛んでった時はどないしようかと思ったわ。

英治 はは。

B 助 明日最終日か。早いな。

英治 ホンマに最終日やな。

シーラ うん。

B 助 今日も大盛り上がりやったなな、俺ら三人最強やな。

英治 それが。

B 助 ?

英治 B 助、ずっと言わなあかんって思ってたんだけど。

B 助 何やねん?

英治 俺も最強の三人組やと思ってきてんけど。

B 助 ?

英治 その最強の三人組から一人抜ける…。

B 助 は?

英治・シーラ …。

B 助 英治、おまえ、抜けんのか?

英治 俺やなくて。

B 助 ほなシーラかよ。何か最近様子おかしい思ってたてん。

シーラ その…。

B 助 何やねんそれ。英治の曲はシーラの歌詞とボーカルがないとあかんねんぞ。

シーラ それは私かてずっとそう思ってたし。信じてたし。

B 助 過去形かよ。

シーラ 信じてるし。これからかてそうやって。

B 助 ほな何で。

英治 B 助、興奮するなって。

B 助 興奮するな?

問。

B 助 ボーカルオーディションでシーラのこと見つけた時は、すげえ神様の贈り物やって思ってたよなあ。ようやく俺ら、メジャーデビュー

も現実のものになりそうになってきたのに、ハイファイセットの再来って言われるまで

シーラ になったのに。

シーラ 結婚するねん。

B 助 結婚?

シーラ うん。

B 助 おめでどう、って言わなあかんやろな。

シーラ 無理に言わんでもええよ。

B 助 何やねん。おまえの思いつてそんなもんか。たとえ泥を食うことになっても、其れこそ悪魔になっても、他人を利用してでも、メジャーデビューまでのしがたっていこうって言うてたやんけ。

シーラ 英治と結婚するねん。

B 助 え?

シーラ …。

英治 …。

B 助 英治とシーラが?

英治 うん。

B 助 何それ?

英治 いや、おまえの「何それ」はもっともやと思っ。

B 助 は? 結婚?

英治 うん。

B 助 ほんで、シーラは家庭に入るってこと?

英治 いや、続けていけるやろ?

B 助 ま、続けて行くんやけど。

B 助 え?

シーラ 夫婦でやっていこうって話になって。

B 助 は?

問。

B 助 え？

英治 そういうことやねん。

B 助 何それ、え？ るくぶる？

シーラ まあ、うん。

B 助 ほな、英治、おまえも抜けるんやんけ。一人ちやうやん、二人抜けるんやんけ。

問。

B 助 へえ、よかったやん。おめでどう。

英治 悪い。

B 助 謝んなよ。それがおまえらのゴールなんやったら、謝ることないやろ、うが。

シーラ まあ、ゴールっていうか、スタートやねんけど。

英治 けど、B助のことを裏切ってるわけやし。

B 助 かまへんやろ。

英治 いやそれでやな。こんな立場でB助にこんな頼みをするのはホンマお門違いやと思うんやけど。

B 助 ？

英治 その。

シーラ グループ名も貰ってっていいかになって。

B 助 …ひとり抜けるんって。俺かよ！

英治 悪い。

B 助 悪いわ。そら悪いわ。他人利用してでもって、

俺のことかよ。

英治 ごめん。

B 助 そこは否定しろよ。それは違うって言えよ。ええ？ うわもう。何それ。

問。

B 助 いつからやねん。

英治 え？

B 助 いつから付き合っと思ってん。言うても最近やろ。そんな前やったら俺が気づかんわけないし。

英治 それは。

シーラ 二〇〇四年の九月十五日。

B 助 よう覚えてんな。流石。やっぱ女の子やな。

二〇〇四年の九月十五日、それボーカルオーディションの日やん！ シーラと初めて会った日やん。

英治 かな。

B 助 「かな」ちやうわ。バンドの最初から付き合ってたんかよ。

英治 まあ、うん。

シーラ ごめんな、黙ってて。

B 助 ええ？ ほんなら最初から英治とシーラ二人で組んだら良かったんやん。

英治 そんなこと言うなよ！ 俺ら三人でずっとやって来たやろが！

B 助 だからそれをおまえらが二人になりたい言うてんねやろ？ どの口が？ シーラが歌詞書いて、英治が曲書いて、シーラが歌って。英治がギター弾いて。二人で良かったんやん。

シーラ そんなことないよ。だって、ウチら、運転できへんし。

B 助 (運転手かよ！ ドラムのことで何か言えよ。確かに、ずっとるくぶるみたいなんがやりたいとは思ってたけど。

英治 ええ？ 何か俺、最初からずっと空気読めてなかったみたいやん。

B 助 ええやんか！

シーラ だから否定せえや！ 何か俺今加害者みたいになってない？ 何で今まで言うてくれへんかってん。

B 助 だって言うたら気まずくなるって思ったし。

シーラ 内緒にしてるのが、おまえらの中で盛り上がるとか、ああ、そういうことか？

B 助 こそしてスリルがあるなあとか、どうせそういう会話してたんやろ。

英治 明日が三人でやる最後やな。

B 助 聞けや！ 何でそういうことしれつと言えるねん。

英治 しれつとちやうわ！ おまえにどうやって言うか何日も二人で悩んでそれでやな。

B 助 余計嫌や！ こんな聞いてステージあが

英治

B 助

れるか。

シーラ  
B作。

英治  
B助や！

シーラ  
B助。

B助  
何で間違うねん！ 何で今間違うねん！

五年もやってきて！ もお！ 明日最後やのに。どないしてくれるねんこの空気。何とかしてくれや。

シーラ  
AとCは和音になるけど、Bはほら。不協和音やね。

B助  
はあ？

英治  
シーラは場を和ませようやな…。

B助  
何でこの場で言えるねん。しかも音楽ジョークで。今のもあれか、二人で考えてたんか。俺も思ったことあるけど。

英治  
明日最後に発表するわ。

B助  
…好きにせえや。

英治  
その後で俺らの結婚発表するわ。ほなお疲れ。

去る英治、シーラ。

B助  
…。待て待て待て！ 俺、その時どんな顔してステージ立ってたらええねん！ ごっつさぶいやんけ！ 待てや！

終わり。